

検討会からの主な意見と対応

1分野全体に関して

番号	主な意見	対応方法等
1	基本計画からの実行段階では、具体的に何をするのか、ということがとても大切になる。 基本計画から次の段階に行くところの事例を入れるくらいの感じで計画の方を示していくことで、区民にも分かりやすく、良い計画になるのではないか。	検討会でご議論いただきました施策の方向性に沿って、基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
2	基本計画を考えるにあたっては、各地域の課題というものを、細かな地域でなくても、ある程度地域を大きく分けた形での課題抽出があるとよい。	地域課題を意識する視点は重要と考えます。基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
3	どこの自治体でも福祉の分野は課題が多すぎて優先順位を付けられず平均値をやっている。 ここにどう北区らしさで予算も含めて濃淡を付けるのか、ここは選ぶための戦略・戦術も含めて絞り込むのが非常に必要になる。	
4	基本計画であまり具体的なことは書けないが、「北区らしい具体的な施策」って何があるんだろうというのを踏まえたうえで、もう一つ前の段階を書かないとやはり「北区らしさ」というのはどうしても出ないのではないか。 それから「取組みの事例」というよりはむしろ、こういう取組みをやりたいという思いを踏まえて基本計画の文言が出てきてほしい。こういうことやりたいんだということが伝わってくるような、もう少し主観的なものでも良いから基本計画をそういう形にしてほしい。	基本計画における計画事業を検討する際に、北区らしい事業展開を図るよう、ご意見も参考にまいります。
5	福祉に関しては区と社協と地域包括、NPO、企業とが共有しながら優先順位を決めたものをどう一本化しながら分担していくか、このコミュニケーションとか分担とかを十分反映できていないというのも問題ではないか。	今回の検討会資料の中で、新たに「区民とともに」という項目を設け、「区民に期待すること」と「区の役割」をお示ししたのは、ご指摘いただいた点を意識して計画策定をしていくためです。基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
6	結果や成果を具体的に数字を含めてどこに導き出すのか、結果にコミットしていこうというところがなかなか不十分。やったという行為がゴールになってしまっているのではないか。 この点をちゃんと反映しながら具体的に実行に移すということを、誰が先頭を切ってコーディネートしていくか、機能も含めて考えていく必要がある。	結果や成果を重視し、計画事業の進捗管理をしていくことは重要と考えます。基本計画を策定する際にご意見も参考にまいります。

検討会からの主な意見と対応

7	<p>「北区」というキャラクターが一体どこから出てくるのか。例えば「子育てするなら北区」という話の中で、果たして他の区とどこが違うのか、うちの区を選んでくれる理由は何があるのか、というところを問い直す必要がある。</p>	<p>4-3(2)「北区らしさ」の創造と発信における施策の方向性①「北区の個性や魅力の発信力を高めることで、区民の北区に対する誇りや愛着の醸成、地域への興味・関心の喚起につなげ、地域の活性化、地域のきずなづくりへと発展させていく」 北区の個性や魅力の発信については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。</p>
8	<p>分野ごとに縦に割れるんじゃなくて、横につながっていたり、色んなところで関係している。それをどこで基本計画として担保するのか、ある意味ではサービスで言うとワンストップサービスみたいなものが本当はないといけない。 そうだとすると、それを基本計画段階でどういうふうに表示できるか。分かりやすさというのはそういうことでもあると思うんですね。ある種のワンストップ化というのも念頭に置いて基本計画をまとめていくと、もう少しはっきりしてくるのでは。</p>	<p>4-2(3)簡素で機能的な組織・機構の実現における施策の方向性の中で、ご意見も参考に組み込んでまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

1-1 健康づくりの推進

(1) 健康づくりの支援

番号	主な意見	対応方法等
1	重い病にかかってしまった方々に対し、治療しながら働き続けることができる環境づくりや、地域の中で学んだり、活動したりするための支援（たとえばカウンセラーを置くなど）を行うことが重要。	ご指摘の点については、各事業者の皆様のご理解ご協力が不可欠と考えます。区としては事業者、医療機関、産業保健等の各分野の皆様への周知に努めてまいります。 また、カウンセラーの設置については、コスト面なども含め将来的な課題として捉えさせていただきます。
2	糖尿病をはじめとする生活習慣病予防と重症化予防に取り組む、というようなことを掲げているが、重点施策であるため、具体的にどのようなことをしていくのか、何か強いメッセージが入っていると分かりやすい。	糖尿病をはじめとする生活習慣病予防と重症化予防については、基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にさせていただきます。
3	高齢者が多い区として、データヘルス計画を活用し、どういう疾患が多いのか、どういうところが弱いのかということ、データとして区民に返して頂いて、区民が健康に関心を持てるようなフィードバックを行うなど、毎日の健康づくりの支援につながる様々な取組みが考えられると思う。 区の方でいろいろ考えていることもあると思うので、もう少し書き込みをしてほしい。	施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「健康寿命の延伸のため、糖尿病を中心とした生活習慣病予防と重症化予防、若い世代からの健康づくり支援について、 各種データを活用して 重点的に取り組む。」

(2) 保健・医療体制の充実

番号	主な意見	対応方法等
1	かかりつけ医の先には当然病院があるという事が想定できるし、休日・夜間診療などを医師会が行うと思うが、病院とのつながりについて何も謳わなくてよいのか。	施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「身近な地域で日常的に受診、相談等ができるようかかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の普及と定着を図るほか、 病院と診療所との連携も含めて 、在宅療養を支える医療・介護のさらなる連携を図る。」
2	取組み例②のところの切れ目のない支援、とあるが、はびママたまご面接をした後のフォローアップなどを考えていただけたらどうか。 データとか個人情報のごことに介入というのは難しい面あるのかもしれないが、子どもが生まれてからも続けて、何かあった時にはフォローが出来るという体制があるといい。	フォローアップについては、赤ちゃん訪問、はびママひよこ面接、産前・産後セルフケア講座など様々な事業を実施しています。また、はびママたまご面接の結果、支援が必要な妊婦の方については、健康相談センターと子ども家庭支援センターが連携して、産後までの支援を行っています。これらにより、妊娠期からの切れ目のない支援に、引き続き取り組んでまいります。

検討会からの主な意見と対応

1-2 地域福祉推進のしくみづくり

(1) 区民主体の福祉コミュニティづくり

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>施策の方向性の①の地域で支え合うしくみづくりの中で、地域包括ケアシステムの構築を推進する、とあるが、「社会福祉協議会、町会・自治会、民生委員、NPO・ボランティア団体などによる地域で支え合うしくみづくりの構築に取り組み」とあり、これはどこが音頭をとって行うのか。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築は、「北区地域包括ケア推進計画」に基づき、各課が連携して推進していきます。計画の進捗状況の把握や評価については、各課と調整を図りながら、高齢福祉課が中心となってまいります。</p>
2	<p>施策の方向性の①に、町会・自治会、民生委員などが書いてありますけれども、商店街も、安心安全、地域のコミュニティということで、高齢者の話し合い、子どもの見守り、いろいろなことで参加しているので、できれば商店街を入れていただきたい。</p>	<p>以下のとおり追記いたします。</p> <p>施策の方向性①に 「社会福祉協議会、町会・自治会、民生委員・児童委員、商店街、NPO・ボランティア団体などによる」、 取り組み例①に 「高齢者あんしんセンターを中心に、町会・自治会、民生委員・児童委員、商店街、介護事業者…」 1-3(2)在宅生活の支援、取り組み例①に 「高齢者あんしんセンターを中心に、町会・自治会、民生委員・児童委員、商店街、介護事業者…」</p>
3	<p>ボランティアについては、今後定年の延長や女性の社会進出なども進んでおり、地域に時間をかけるということが難しくなっている。 最小限の労力で（1時間だけ、ネットで簡単に出来るなど）何か関わられる新しい形のボランティアの創出を合わせて考えていくとよい。</p>	<p>ボランティアの参加の仕方については、基本計画等における計画事業を検討する際にご意見も参考にしております。</p>
4	<p>ボランティアを今までしてこなかった方たちが、今あるコミュニティにどう参加すればいいのかというのを明確に打ち出してもらえると分かりやすい。</p>	<p>4-1(1)区民参画の推進における施策の方向性の中で、ご意見も参考に組み込んでまいります。</p>
5	<p>保健師は60人ほどで、民生委員は300人くらいで、ボランティア、NPO団体が出て、コミュニティソーシャルワーカーが出て、他にもいろんな役割をする方がいらっしゃる。 それぞれの役割の人たちのマンパワーというのを、今後の時代の趨勢と政策的な意図によって、どのようなバランスでやっていくのかということが、もう少し具体的に見えたほうが、理解しやすいのでは。</p>	<p>地域で支え合うしくみづくりにおいては、保健師、民生委員、ボランティア、NPOなどが、それぞれの立場で、それぞれの役割をもってできることを行うことで、地域での重層的な見守り体制を構築しており、引き続き一層の連携を図ってまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

6	北区の中の担い手となるNPOや企業等の受け皿の組織は、サービス内容というより、マネジメントの部分も含めてしっかりした組織体をもっているところがまだまだ少ない。そこをどう発掘・育成していくかが伴わないと、担い手との協働がなかなか進まないのでは。	担い手の発掘・育成については、基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
7	結果的にボランティアに頼っているというところで、収入面が担保されないこと自体がやはり新しい担い手が出てこない原因となっているのではないか。	ご意見については、将来的な課題として検討してまいります。
8	福祉のコミュニティや子ども・子育て世代のコミュニティがあって、福祉だけを切り取ったコミュニティを作るのではなくて、地域全体の課題の中に福祉が含まれていますよという観点をもう少し盛り込んだ内容にした方がいいのではないか。	【基本計画2020に向けて】の前段「あらゆる地域住民が役割を持ち、地域と連携し、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域のコミュニティづくりを進めることを通じ、複雑化する課題に地域と連携して対応する」 上記の中で、ご意見も参考にまいります。

(2) 利用者本位のサービスの提供

番号	主な意見	対応方法等
1	北区に住んでいる方たちの人生を丸ごとみるということであれば、何か困った時にはここでみますよという形で、高齢者、障害者、子どもなど世代を超えて窓口の一本化を図っていくなど、具体的な面白い取組みがあると北区らしさというものが見えてくるのではないか。	高齢者、障害者、子どもなど世代を超えて窓口の一本化などの取組みについては、将来的な課題として検討してまいります。
2	家族の中に要介護の方がいても、安心して、働きながら、介護をしながら暮らせる、そうした体制づくりが必要。	家族介護者教室や高齢者あんしんセンターでの相談などを実施しており、引き続き取り組んでまいります。

(3) 権利擁護のしくみづくり

番号	主な意見	対応方法等
1	介護している方たちの家族支援というものが少し薄い。もっとアウトリーチ活動を行う必要がある。相談所に来てくださいと言っても、よほどの気持ちが必要であれば自分の事の相談になかなか行きづらい。安心して相談できる、安心して健やかに暮らせるために、どういう基準で介護している方たちの家族支援を体制に入れていくのかという事も少し具体性を持った方が、相談しやすいのでは。	高齢者あんしんセンターではアウトリーチ活動を実施しており、その中で家族介護者からの相談にも応じており、引き続き取り組んでまいります。

検討会からの主な意見と対応

1-3 高齢者・障害者の自立支援

(1) 社会参加の促進

番号	主な意見	対応方法等
1	NPO、ボランティア等地域活動に参画するといった社会参加は、もう少し細かく分析していく必要がある。消防団や警察の安全パトロールといった社会的課題を解決するための社会参加の在り方のほかに、趣味の世界、好きなことをみんなと一緒にやるという在り方もある。ここをどのように具体的に展開するかということをお示し頂きたい。	社会参加の仕方については様々であると認識しており、健康増進センターの再構築の中で検討するとともに、基本計画等における計画事業を検討する際にもご意見も参考にまいります。
2	シルバー人材センターの仕事は、体を使う仕事が多い。ところが、北区のシニア世代の中には、もう少し頭を使う仕事がしたいという方がかなり多く、ミスマッチが起きている。このミスマッチをどう解消するかという指針が出てくれば、おそらくシニア世代の活動、就労というのは増えていかない。健康でい続けるのに最も大切なことは仕事をし続けることだ、という発表があちこちでされているが、それをもう少し重く受け止める必要がある。	就労のミスマッチの解消策については、基本計画等における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
3	自立支援というのは、自分の足で立っていくということだけが自立支援ではなくて、自立するためのその人の意欲をいかに引き出していくかという支援。だから仕事をしたい、社会参加したいという意欲を引き出すプログラムや選択肢を、行政が示す必要がある。自立支援をしなさいというだけではただの自立強制であって、まったく支援になっておらず、無理やりやらされている感じが強い。	社会参加をしたいという意欲を引き出すプログラムやメニューについては、基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
4	障害児のところ少し薄い。障害児へのケアとか教育の確保といったところも、北区できちんとやっていますよという事をここで示せると、障害のある子どもを持つお母さんが、北区に行ったらそこまで見てくれるんだという気持ちになり、興味を持ってくれるのではないか。	障害児へのケアや教育の確保などについては、2-6(1)⑤個に応じた教育の推進や(2)④教育支援体制の整備の項目において、教育環境の整備や相談体制の充実などに取り組んでまいります。 また、障害児を対象とする事業については、第1期北区障害児福祉計画の中においても具体化されており、引き続き取り組んでまいります。
5	高齢者向けのシニアアカデミーで講座をやったことがあり、何年かやっていくうちに、講座を受けることで、ホワイトカラーのサラリーマンだった人が、劇的に意識を変えて、感動して地域に帰っていった。上手に地域デビューできるかどうかはまた別問題だが、そういうものを見ていると、相当ボリュームとしては人数が多い部分なので、そうした講座を意識的に仕掛けていくというのもアイデアの1つだと思う。	高齢者向けのシニアアカデミー講座などの地域デビューに向けた講座などについては、基本計画等の計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。

検討会からの主な意見と対応

6	<p>働きたいと思えるメニューを提供しないと働きたいと思うシニアが増えないということもあるし、学ぶのがゴールだとみなさんつまらない。</p> <p>でも学んだ結果地域でどんな役割が果たせるのか、出口が明確になると、それを楽しいと思えば学ぼうとするところにつながる、この出口戦略を具体的に作る事が重要ではないか。</p>	<p>学んだことを地域に還元できる出口戦略などについては、基本計画等の計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。</p>
7	<p>健康寿命を促進するために、主体的に地域参加していただく要素がなく、やらされている感覚だと健康寿命は延びない。つまりやりたいと思う環境をどう作るかが一つ目。二つ目が、人の役に立っている、地域の役に立っているという自分の存在価値を感じられる取り組みであることも重要。三つ目に対価を得るとか報酬を得るとか、何かしらリターンがあることも非常に重要。そしてそこに多世代交流という要素もあれば効果的ということも高齢者支援の中で言われている。</p> <p>教えたり、一緒に元気に取り組みをしようという視点を、こうした施策を運営する中でどう反映できるかというところを考えていくと、高齢者に主体的に活躍していただけるようなメニューをどう提供するか、本当にこれが実行に移されたときに提供できるかというのが課題ではないか。</p>	<p>主体的に地域参加していただく取り組みについては、基本計画等における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。</p>

(2) 在宅生活の支援

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>地域包括ケアの話の中で色々な主体の話が出てきておりまして、そこを誰がやるのか、主体の人の顔が見えてこないと実際には回らないという話を随分伺っている。実際に誰がやっていくか、顔が見える形での地域包括ケアというのが様々なところで影響されているのではないか。</p>	<p>地域包括ケアシステムについては、「北区地域包括ケア推進計画」の中で具体的なイメージをお示ししており、引き続き顔が見える形での地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。</p>

(3) 生活の場の確保

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>地域包括ケアというのは、医療・介護・福祉・予防・住まい・生活支援というものが切れ目なく一体的に提供されなければならぬので、どうしても高齢者・障害者に特化してしまいがち。地域包括ケアシステムのなかで、区民の方がきちんと周辺のものにつながって取り組まれているという事のニュアンスが色濃く出ると分かりやすい。</p>	<p>地域包括ケアシステムについては、「北区地域包括ケア推進計画」の中で具体的なイメージをお示ししており、引き続き取り組んでまいります。</p>
2	<p>老人ホーム等に関して、ここに住んでいる人たちの権利等の配慮を。施設に入ったら地域とのつながりが切れてしまうのではなくて、そこにいても意見が言えるような、吸い上げられるようなシステムづくりというものができないか。</p>	<p>施策の方向性①に以下のとおり追記します。 「高齢者や障害者一人一人が安心して地域の一員として生活できる、生活の場の確保のため施設整備を推進する」</p>
3	<p>老人保健施設という言葉があるが、今は介護保険のシステムなので、介護老人保健施設というふうに明記されるのではないかと思う。</p>	<p>取組み例など4カ所を以下のとおり修正します。 「老人保健施設」⇒「介護老人保健施設」</p>

検討会からの主な意見と対応

1-4 子ども・家庭への支援

(1) 子育て家庭の支援

番号	主な意見	対応方法等
1	コミュニティ道路のような歩道スペースを作っていく。そうすると子どもが走って危なかったのを防ぐことや、子どもの視点だけではなくバリアフリーという視点でつながったりする。それを掘っていくと、他の部、セクションの改善策につながっていくのではないかな。	子育てファミリー層をはじめとした、だれもが安全で快適に暮らせる環境づくりについては、ご意見も参考にしながら引き続き検討してまいります。
2	保育者への支援というのが保育の質の向上につながって、それが子どもに還元することになる。それをもっと謳っていいのでは。	施策の方向性①を以下のとおり修正いたします。 「待機児童解消や安全で快適な保育環境のため、施設整備とともに、 <u>保育人材の確保及び保育の質の向上に向けた保育事業者・保育士への支援</u> に取り組む」
3	“教育は人なり”とか“保育は人なり”と言うように、人が大切なので、就学の前の段階の保育サービスの質が充実するような仕組みにしていきたい。	及び取組み例①を以下のとおり修正いたします。 「 <u>研修等の充実による保育人材の育成、家賃補助や資格取得支援等による保育人材の確保、また保育所等におけるICT化の推進など、国や都の補助金を活用した保育事業者、保育士への支援</u> に取り組む」
4	施策の方向性①で「多様な保育サービスの充実」となっているが、「質の高い保育サービスの充実」というふうにしたほうが良いのでは。	多様な保育ニーズに質の高いサービスで応えていくという方向性のもと施策を充実させてまいりますので、ご意見の趣旨を基本に据えて、引き続き取り組んでまいります。
5	困難を抱える子育て家庭への支援というところで、役所がすべてやるのではなくて、当事者支援をやっている民間への支援という形を強化することで、区民の方たちも利用しやすいし、役所もある程度やることを絞れるのではないかな。	施策の方向性③に以下のとおり追記します。 「子どもの貧困問題解決やひとり親家庭の支援は、経済的な支援だけではなく、 <u>区民やNPO等と連携して多岐に渡った支援を行う</u> 」
6	ティーンズセンターのようなものを作ったら、それがどのような効果を生んでいるのかという検証結果をオープンにし、それに対してどうしていくのかを示す必要がある。	子育て支援施設運営に関する検証等については、ご意見も参考に将来的な課題として引き続き検討してまいります。
7	北区の個性というのが分からない。「子育てするなら北区が一番」と非常に重点的に謳っているので、そうした北区の個性が感じられるものを何かもっと強調してもよいのではないかな。	基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にしてまいります。

検討会からの主な意見と対応

(2) 子どもの健やかな成長の支援

番号	主な意見	対応方法等
1	保育園は7時から預かっていただけたところがあるのに、学童保育は8時半から、早いところでは8時15分とかなので、7時から8時の学童保育を考えてほしい。	学童クラブの開所時間については、ご意見も参考にしながら将来的な課題として引き続き検討してまいります。
2	「小一の壁」というところで、在校保護者と話せる機会とか、座談会みたいな簡単な会が開けるといい。	わかりやすい保護者説明会に努めるとともに、スムーズな入学に向けた取組みについて、ご意見も参考に検討してまいります。
3	板橋の動物とか、あらかわ遊園の動物とか何も動いてなかったとすると、北区がテナポラリーに借りると、子どもたちの遊ぶ場所の提供としてはもちろん、ビジネスの視点で言うと北区のブランドが意外と高くなったりすることがあると思う。チャレンジ項目でもいいので、北区が民間と連携して取り組んでいる、色々と考えているというメッセージが伝わるといい。	魅力的な子どもの遊び場や民間との連携については、ご意見も参考に検討してまいります。
4	全天候施設を造り、その中でもただ箱モノを作るのではなくて、例えば木のぬくもりを通じて体験をしてもらおうということで、情操教育ではなくて何となく子どもの気持ちに引っかかる、訴えるようなことができるといい。	子どもセンター等の子育て広場で、木のぬくもりを伝え、感受性豊かな心を育む活動などを、引き続き実施してまいります。
5	海外の公園は、だいたい健康器具が置いてあって、小さい子供からお年寄り、普通の大人からお年寄りまで一緒に使っている。日本の公園は貴重なオープンスペースにも関わらず、さほど利用されていない実態もあるため、その辺を中核に据えて、工夫の余地というのもあるのではないかと。	3-6(2) 魅力ある公園・水辺空間の形成における施策の方向性の中で、区民に身近な公園づくりについて、ご意見も参考に検討してまいります。

(3) 子どもをあたたく育む地域社会づくり

番号	主な意見	対応方法等
1	【単位施策の変更】で、「いじめや虐待の防止」の内容をこちらに統合とある。「虐待の防止」は内容を読んでいくと分かるが、「いじめ」がどうしてここに入ったのかを教えてください。もし変わるとしたら(2)の子どもの健やかな成長の支援のところ、例えば放課後子ども総合プランやティーンズセンター、学校等で連携して、いじめを見守ったり、予防する形で入るといいかと思う。「いじめ」という文言がまるっきりなくなってしまうと、やはりそれに対しての地域の目というのが、本当に言葉ではあるとは思いますが、やはり残しておいてほしい。	今後の課題③を以下のとおり修正します。 「子どもを狙った犯罪や無差別殺傷事件、 いじめによる自殺 等、子育て世帯に不安を与える事件は後を絶たず、子どもの安全確保に対するニーズはさらに高まっています」 及び施策の方向性③を以下のとおり修正します。 「 保護者や学校、住民や企業、商店等、地域ぐるみで子どもたちを見守るしくみづくりを行う。また、深刻化するいじめなどの子どもの権利侵害に対して、学校だけでなく様々な関係機関が連携し、地域全体による予防と早期発見に努める 」

検討会からの主な意見と対応

1-5 福祉のまちづくり

(1) バリアフリーのまちづくり

番号	主な意見	対応方法等
1	17ページの区の役割のところの3番目に、PDCAサイクルに基づきと書いてあるが、ここだけこれが入っているのは、おかしい。あらゆるものがPDCAサイクルに基づいて物事を進めないといけない。	計画全体にかかわることであるため、「PDCAサイクルに基づき」については、「区の役割」及び(1)バリアフリーのまちづくりの「施策の方向性①」からは削除いたします。
2	「わかりやすいまちづくり」をぜひここに入れるべき。	わかりやすいまちづくりについては、基本計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にまいります。
3	主要駅は大体エレベータの出口が主要道路と遠いところにあり、やはりルートが遠いことが改善の用途になるのではないか。それは同時に、高齢者の方が日々感じていることなんだなとこの街で過ごしながら感じている。	北区バリアフリー基本構想【全体構想】では、エレベーターの利用により大きな迂回が生じる駅では、2ルート目のバリアフリールート確保等に積極的に取り組む事としております。具体的な事業内容については、利用者の意見や鉄道事業者との協議によって検討を進めてまいります。

(2) 思いやりのある福祉のまちづくり

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

2-1 地域産業の活性化

(1) 新たな産業の展開

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>ネスト赤羽（創業支援施設）の相談については、小さく仕事をやっていこうという相談が圧倒的に多い。これは、北区の実態と知っている。</p> <p>新規創業者は、小さく創業して継続していこうという方が多い。その傾向は、シニア層・子育て中の女性・学生ベンチャー系の方となっている。創業素人の方の相談が多く見られるのも一つ傾向となっている。</p> <p>創業については、自己利益より、地域との共存を目指す傾向などがある。北区もまさにその傾向を持っている創業者などが顕著にみられる。</p>	<p>ネスト赤羽の相談状況や創業者の現状については産業部門の所管課と共有し、基本計画や個別計画における計画事業を検討する際にご意見を参考にさせていただきます。</p>
2	<p>ワンストップ相談機能が重要と考えている。創業するにはどうしたらいいかという根本的な相談から対応できるような相談体制が必要ではないかと感じている。</p> <p>また、相談窓口だけではなく、横断的な区全体としての対応も必要になってくるのではないかと感じている。</p>	<p>潜在的創業者等に対して相談体制を整えられるよう、基本計画や個別計画における計画事業を検討する際にご意見を参考にさせていただきます。</p>
3	<p>オリパラ終了後も含めて、中長期的に産業を誘致しながら育てていくことも考えていく必要があると考える。</p> <p>また、中長期的な展望を描きながら、産業界と関わることが新たなビジネスチャンスにもつながり、まち全体で産業の活性化につながっていくと思う。今回作成する基本計画が、オリパラ以降を含めた展望が描けるといいのではないか。</p>	<p>オリパラ終了後も、オリパラを契機とした産業の誘致や産業界とのかかわりを意識しながら、基本計画や個別計画における計画事業を検討してまいります。</p> <p>また、平成30年3月に策定した北区産業活性化ビジョン2018と整合性を図ってまいります。</p>
4	<p>都市の場合、雇用の確保は、区が中心となって行う施策ではない。区は、区民サービスを充実させるために、どのように産業を育成するかという考え方が大切。</p>	<p>取組み例①「区内中小企業の人材確保を支援するため、ハローワークや東京しごと財団との連携を強化し、より効率的・効果的な事業を推進する」</p> <p>雇用の確保については、労働力不足や雇用状況の改善などの社会情勢の変化への対応を図りながら、上記の中で、ご意見も参考に取り組んでまいります。</p> <p>また、区民サービスの充実という観点からの産業の育成については、検討会資料の内容を踏まえまして、基本計画や個別事業における計画事業を検討する際にご意見も参考にに取り組んでまいります。</p>
5	<p>相談業務について言うと、今のままでは、区と商工会議所などが、重複してサービスを提供することになってしまう。これは無駄ではないかと考えている。</p> <p>連携という意味において、産業団体に任せたいことは、任せたいほうが効果があると思う。このような役割分担についても、基本計画に含めることで、区民にとって産業は何かということを明確にできないか。</p>	<p>取組み例①「伴走型の相談窓口の構築、融資制度の充実、関係機関の連携を強化」</p> <p>上記の中で、基本計画や個別計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にさせていただきます。</p>

検討会からの主な意見と対応

(2) モノづくりの振興

番号	主な意見	対応方法等

(3) 生活サービス産業の育成

番号	主な意見	対応方法等
1	一生懸命やっている商店街もある。そこをどのように伸ばしていくかが重要。	取組み例①「意欲ある個店グループが行うイベント等の取組みに要する経費の一部助成」 取組み例②「商店街加入の若手事業者グループの意欲的な取組みに対する補助」 上記の中で、ご意見も参考に取組んでまいります。
2	後継者不足について、大学を卒業すると企業に就職していく傾向がある。後継者がいないというわけではない。このような状況に対して、区としてどのように対応していくか検討していただきたい。	後継者不足の問題については、それぞれの個店における事情もあり、区がどこまで踏み込むことができるか検討課題と考えておりますが、基本計画や個別計画における計画事業を検討する際に区の対応方法についてご意見も参考に検討してまいります。
3	スーパー等の誘致により商店街に来てくれない状況となっている。そのため、どうしても空き店舗が出てきてしまう。商店街は、地域の安全から消防・警察などいろいろな面で機能するものだと思うが、うまく機能していないのが現状だと思う。	商店街が身近な買い物の場に加え、コミュニティ形成の場としての役割を果たせるよう、基本計画や個別計画における計画事業を検討する際にご意見も参考にさせていただきます。
4	文化・芸術からスポーツあるいは塾も含めて、全てをサービス産業だと位置づければ、いかに地域の産業の活性化を単体でやっても無意味かがわかる。つまり生涯教育部門や、文化の振興など、そういった施策と連携をしながら、産業の活性化を進めていかなければならない。そこがどこにも明記されていないのが問題かと思う。	施策の方向性③に以下のとおり追記いたします。 「区民にとって暮らしやすい地域を形成するために、 福祉や教育等の施策との連携も視野に入れつつ 、区民生活に密接に関連したサービス産業の振興・支援を図る」

検討会からの主な意見と対応

2-2 コミュニティ活動の活性化

(1) コミュニティ活動の支援

番号	主な意見	対応方法等
1	「住みよいまちづくり」について、たとえば北区が主催して区民に公募をしたらどうか。住みよいまちづくりについて区民がどう思っているのかを募り、区民が思っている住みよいまちづくりがどのようなものか、なおかつ北区の取組みがどのようなものかを発表することは、対外的によりアピールになるのではないか。	「住みよいまちづくり」の考え方については、北区民意識・意向調査等の調査結果を精査するとともに、ご意見を参考にしながら将来的な課題として引き続き検討してまいります。
2	講座や講演会を開くだけでは若者に興味を持ってもらえない。様々な形のものと考えて取り組んでいかなければ、このコミュニティの中で町会・自治会は本当に消滅してしまう。	施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「 若年層も含めた 区民全体の地域コミュニティに対する関心を高め、 地域住民相互の交流を促進するとともに 、地域の連帯意識を醸成する」
3	地域コミュニティについて、昔からその地域に住んでいる高齢者は地域の人の顔や名前を知っていたりするが、若い世代が引っ越してきてから、そのコミュニティ自体に関心を高めることができなくなってきていると考える。ここで求められているのは世代間交流を促進するというのではないか。	
4	町会・自治会やNPO・ボランティア団体等の課題が多様化（加入率の低下等）している中で、北区でもかなり外国人人口が増えている。他自治体の例を参考にしながら、外国人が北区で生活するうえでの相談窓口の設置を検討するなど、区としてのバックアップをお願いしたい。	外国人相談窓口の必要性については、区として認識しておりますが、国においても課題とされている現状であり、国や東京都、周辺区と連携した取り組みを視野に入れて検討してまいります。 なお、現在、身近な生活情報の提供や区の行政サービスに関する外国人相談については、事前予約制ではありますが、区民相談室において専門相談員が英語・中国語で無料相談に応じております。
5	アメリカには地域コミュニティにおける外国人の受け入れシステムがしっかりしている地域もある。行政による情報提供だけではなく、サークル活動やボランティア活動の案内や病院リストなど地域の細かい情報がもらえるサービスがある。また、コーディネーターによる支援もあり、困ったらいつでも相談に行ける環境がつけられている。北区にも地域になかなか溶け込めずに困っている外国人は多いと思うので、外国人の窓口を充実させてほしい。	

検討会からの主な意見と対応

6	<p>地域円卓会議では、その地域で本当に困っている問題や地域を盛り上げるための方法等、もっと深掘りした内容について、地域の町会・自治会をはじめ消防団等すべての人が集まり話し合っていく必要がある。そのうえで、NPO・ボランティア団体等の協力を後押ししてほしい。</p>	<p>取組み例②「地域円卓会議を開催する」 上記の中で、さらに充実した地域円卓会議の開催に向けて、ご意見も参考に取り組んでまいります。</p>
7	<p>地域で活躍しているNPO団体が地域円卓会議のことを知らなかった。参加したいという意見もあったので、地域によって様々な違いはあると思うが、実のある地域円卓会議にしていかなければならない。</p>	
8	<p>【区民（地域・NPO・事業者等を含む）に期待すること】に「地域円卓会議や講演会等に積極的に参加し」とあるが、地域円卓会議は、現実には町会・自治会等の団体側が参加者を招待することになるため、団体側が区民へ呼びかけなければ、区民が地域円卓会議に積極的に参加するのは難しい。</p>	<p>区民（地域・NPO・事業者等を含む）に期待すること「NPO・ボランティア団体は地域円卓会議や講演会等に積極的に参加し、地域団体同士が知り合い、連携・協力できるきっかけをつくり、主体的に課題解決をしていく」 上記については「NPO・ボランティア団体」に期待することとさせていただきます。区民の参加方法につきましては、ご意見も参考に引き続き検討してまいります。</p>
9	<p>人によってやりたいボランティアは様々あると思うが、まず何ができるのか相談できる場所がほしい。そういった意味で北区NPO・ボランティアぶらざのコーディネート機能があるのだろうが、意外と区民には知られておらず非常にもったいない。もっと情報発信をしてほしい。</p>	<p>施策の方向性③「北区NPO・ボランティアぶらざの機能の充実を図り、活動団体のネットワークを生かした事業を実施する」 上記の中で、ご意見も参考に取り組んでまいります。</p>
10	<p>それぞれの分野において必要なボランティアは様々あると思うが、そういった情報がすべて北区NPO・ボランティアぶらざに集約されているのか。ボランティアをやりたいというニーズがあった場合に、ニーズを積極的に受け入れられそうな団体にコーディネーターから働きかけをするなどの調整ができるのか。そういったことも含めてもっと北区NPO・ボランティアぶらざの機能を充実させてほしい。</p>	
11	<p>プログラミングや英会話など、学校教育の中で活躍している地域の人材が様々いると思う。また、ボランティアをやりたい人、ボランティアでなくても少しでも報酬があればやりたいという人もいると思う。ボランティアの活動と学校の活動とはおそらく縦割りになっていると思うが、行政の様々な所管で持っている情報を集約させ、さらに踏み込んだ形でコーディネートし、区民のニーズにつなげてほしい。</p>	<p>施策の方向性②「多様化する地域の問題に対して、町会・自治会や地域活動団体が協働して取り組めるようにする」 及び2-4（3）学習成果の活用における取組み例 「放課後子ども総合プラン等において、地域の住民やPTA、NPO・ボランティア等と協働して、自然体験、社会体験、文化芸術体験等、様々な活動体験を充実させ、子どもたちが豊かな体験活動を実践できるようにする」 上記の中で、ご意見も参考に取り組んでまいります。</p>

（2）コミュニティ施設の充実

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

2-3 個性豊かな地域文化の創造

(1) 個性豊かな地域文化の創造と発信

番号	主な意見	対応方法等
1	【社会動向】に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」とあるが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、厚生労働省が障害者の芸術・文化振興に力を入れている。障害者の芸術というところも視点に入れると、より「創造」豊かなものに結びつくと思う。	施策の方向性②を以下のとおり修正いたします。 「 だれもが 主体的に文化芸術を楽しみ、発表できる場を数多く提供するとともに、芸術家や指導者等を支援する」

(2) 歴史的文化の継承と活用

番号	主な意見	対応方法等
1	北区観光協会のホームページに、飛鳥山博物館やふるさと農家体験館のことがあまり掲載されていないように感じられたため、情報をつなげてほしい。	2-1(1)③北区の魅力を生かした観光の推進「東京北区観光協会と連携し、北区観光の効果的な発信に取り組む」について、東京北区観光協会への業務委託により、平成29年度に北区観光ホームページのリニューアルを行いました。ご意見を参考に、東京北区観光協会との情報の連携やホームページの見やすさの向上に引き続き取り組んでまいります。
2	「次世代に継承されていく」ということであれば、博物館の学芸員による説明だけでなく、高齢者が子どもに話をする機会をつくるなど、高齢者と子どもとで次世代につなげるような文化の継承が含まれると、より「活用」というところにつながるのではないか。	施策の方向性「歴史的文化を保存し、次世代に継承していく」「子どもの頃から北区の歴史や文化財について学ぶ機会を提供し、区民の郷土に親しむ気持ちを育てる」 取り組み例「地域文化の保存・継承などを行っている団体の活動を支援する」 上記の中で、ご意見も参考に取り組んでまいります。
3	北区の観光ボランティアでは高齢者も活躍しており、北区には歴史的な資産が多く残っている。新しいことだけでなく、ずっと昔からある場所について伝えていくことも非常に大切で、様々な世代の人に参加してもらえたらよいと思う。	

検討会からの主な意見と対応

2-4 生涯学習の推進

(1) 情報提供・相談体制の充実

番号	主な意見	対応方法等

(2) 学習機会の拡充

番号	主な意見	対応方法等

(3) 学習成果の活用

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>生涯学習に関する所管課はどこか。生涯学習に関する基本計画的性格を持つものはあるか。</p> <p>→（区）生涯学習・学校地域連携課。教育ビジョンの中に位置づけている。</p> <p>生涯学習は全分野、全庁的に関わるもので、教育の一所管課に収まるものではない。検討会資料は一部の視点からしか書かれていないように見受けられる。様々な施策と連動するようなものとしてほしい。</p>	<p>高齢者や子どもといった福祉分野、地域ボランティアの活動や区政との協働推進等、様々な施策における生涯学習の重要性を認識し、ご意見も参考に引き続き取り組んでまいります。</p>
2	<p>学びの成果を地域に還元するとあるが、今後団塊の世代の中心に「地域の役に立ちたい」というニーズは増えてくる。需要と供給のマッチングやボランティア等をどのように組織化していくかといったことが課題になると思われる。</p>	<p>施策の方向性「学校と地域の連携・協働による取組みの中で、区民の学習成果を子どもの豊かな成長に生かすしくみが有効に機能するような環境整備を図る」及び2-2（1）コミュニティ活動の支援における施策の方向性「多様化する地域の問題に対して、町会・自治会や地域活動団体が協働して取り組めるようにする」及び4-1（1）区民参画の推進における施策の方向性「区民の区政への参加を促進するため、幅広い世代の多様な区民のニーズを取り込み、活躍の場へとつなぐしくみづくり、地域コミュニティの形成や地域の課題解決に貢献することへのやりがいを持つきっかけづくりを行う」</p> <p>上記の中で、ご意見も参考に検討してまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

2-5 生涯スポーツの推進

(1) 身近なスポーツの場の整備

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>基本構想に「だれもが身近な地域でスポーツ・レクリエーション活動を行える場を提供する」とあるが、スポーツのハードルを高くしなくてもいいと思っており、散歩も立派な運動の一つだと思っている。施設整備の企画・実行で手一杯ということであれば、立派な施設をつくる必要もなく、たとえば川辺の散策路や公園を整備して高齢者から子ども、特に、行政が取り組むのであれば自らアクティブに体を動かさない人にやさしいものをつくることなどを盛り込んだらよいと思う。</p>	<p>施策の方向性①「今後活用が見込まれる水辺空間等を利用してスポーツに親しみやすい環境整備を検討する」 上記の中で、ご意見も参考に取り組みでまいります。</p>

(2) 参加機会の拡充

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

2-6 未来を似合う人づくり

(1) 社会の変化に対応する学校教育の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	新学習指導要領の趣旨がうまく施策の方向性に乗っているのかどうか、どうも現行の指導要領的な表現・内容の感じがする。ソサエティ5.0を受けた国の方針とか内閣府や経済産業省の動向が今後の教育シーンに大きく影響を与えていくので、区としても備えをしていく必要がある。	以下のとおり修正いたします。 今後の課題① 「新学習指導要領の全面実施に伴い、 <u>知識の理解の質を高め、子どもに必要な資質・能力を育む教育の実現がより一層求められている</u> 」
2	STEM教育（科学、数学領域に重点をおいた教育）がこれから世界的にも重要になってくる。自分で考える力、問題解決をする力をつけるための教育ということで、ぜひ積極的に取り入れていただけたら。	施策の方向性① 「基礎的な知識・技能の習得、確かな学力の定着をめざすとともに、 <u>主体的・対話的で深い学びを通して、これからの時代を生き抜き、未来を創るために必要となる資質・能力を育成する</u> 」
3	これからAIが急速に進歩し、コンピュータによる個別指導をする時代になる。教育先進都市・北区として、AIを活用しながら教育の生産性を向上させることが必須である。一方、コンピュータにはできない部分、心のケアとか実験・観察とか、その教育環境の部分を充実させてほしい。	施策の方向性④ 「外国文化に積極的に触れ合う環境の構築や <u>プログラミング教育などによる、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育成する機会の充実を図り、国際化や情報化が急速に進展する社会</u> に対応できる子どもの育成を行う」
4	国際人として活躍するためには、外国語の習得だけではなく自分の考えをしっかりと表現できる力の育成というのも大変重要である。	施策の方向性⑥ 「北区学校ファミリー構想のもと小中一貫教育を推進するとともに、 <u>学校や地域の特性に合わせたカリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上を図る</u> 」
5	外国語を学び、親しむ機会といっても英語のことだけのようだ。北区には中国籍、ベトナム籍の子なども多い。一部にある外国人=こわいというイメージを払拭するような、まず隣人を知るといような国際教育の取組みが大切である。	2-7（1）地球市民を育む意識づくりにおける施策の方向性①「だれもが一人ひとり持っている国籍や年齢、性別や性のあり方、障害の有無、出身地等の多様性を認め合い、誰もがいきいきと生きることができる差別のない人権尊重社会の実現に向けて、将来を担う子どもたちを中心とした、幅広い世代の区民への普及・啓発を目的とした事業を長期的に展開する」及び2-7（3）外国人が暮らしやすい環境づくりにおける施策の方向性「異なる国の価値観を学ぶ異文化理解を推進するとともに、外国人区民との交流機会を創出し、多様性を認め合う地域づくりを推進する」国際教育に関しては多国籍化に合わせた多文化理解が必要であり、上記の中で、ご意見も参考に今後の交流機会などについて取り組んでまいります。
6	自分の命は自分で守れる教育、たとえば防災教育などをしっかりと行う必要がある。	3-2（3）地域防災力の向上における、防災運動会や中学生の「防災学校」、子ども向けの防災教室等、地域や関係機関と連携した防災意識の向上について、引き続き取り組んでまいります。

検討会からの主な意見と対応

7	小1プロブレムは小1だけに起きていることではない。授業についていけない子どもが増えている。個別対応等の必要性があり、そのために教員をサポートする人材を地域から掘り起こして活用するようなしくみができればよい。	学校支援ボランティアや教育支援ボランティア（学生ボランティア）等、さまざまな技能や知識を持つ地域の人々が学校と協力し学校の教育活動を支援する活動に引き続き取り組んでまいります。
8	他区の事例だが幼小中一貫校においては、見守り体制のコスパがよい、小1中1の壁に関して前の担任が身近にいたりして相談しやすい、といったメリットがある。一貫校は今後も増やしていくのがよい。	施策の方向性⑥「北区学校ファミリー構想のもと、小中一貫教育を推進するとともに、学校と地域が連携して、地域の特性を生かした教育を行う」 小中一貫教育については、上記の中でご意見も参考に取り組んでまいります。
9	（⑧と関連して）相談しやすい相手という意味で、スクールカウンセラーとして前の学校の担任に協力してもらいなどのしくみができるとうい。民間企業など外部の専門的人材も活用してよいのでは。	スクールカウンセラーの配置や活用については、ご意見も参考に、よりよいものとなるよう引き続き検討してまいります。

（2）教育環境の整備

番号	主な意見	対応方法等
1	ICTを活用した授業、ICTに関する授業については、受け持つ教師の資質によって大きく内容のレベルに差が出る。専門的な外部講師を活用してもいいのではないか。	各学校では情報教育アドバイザー等の外部講師による教職員向けのICT活用に関する研修を実施しています。また、NPOや教育ボランティアによるプログラミング教室などを実施しており、今後の取組みについてはご意見も参考に検討してまいります。
2	「区民に期待すること」で「学校整備におけるアンケートに協力し、説明会や検討会に参加する」とあるが、どういうふうにしたら参加してもらえるだろうかということも踏まえて、もう少し違った書き方をしてもらえるとよい。	「区民とともに」における「区民に期待すること」の記述を以下のとおり修正いたします。 「学校説明会等の機会において、望ましい教育環境づくりに向け、学校との意見交換等を行う」 （これに対応する「区の役割」が「子どもや保護者が安心できる学校環境づくりを行う」「地域から親しまれる開かれた学校づくりを行う」）

（3）学校・家庭・地域社会の連携の推進

（4）地域に開かれた学校づくり

番号	主な意見	対応方法等
1	外国人児童の保護者が地域になじめないという課題がある。国際交流員等の地域人材を活用し、地域全体で支えていければよい。	2-7（3）外国人が暮らしやすい環境づくりにおける施策の方向性③「NPO・ボランティア活動等、中間的な立場で日本人と外国人を結び担い手の発掘・育成を行い、多文化共生を推進する」 上記の中で、ご意見も参考にに取り組んでまいります。

（5）青少年の健全育成と自立支援

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

2-7 グローバル時代のまちづくり

(1) 地球市民を育む意識づくり

番号	主な意見	対応方法等

(2) 国際交流・国際協力の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	フランス学園、当初は地域のイメージアップにつながると歓迎の声が多かったが、まだ地域住民との交流が深められていない部分がある。地域円卓会議に参加してもらおうとか、地域活動に参加してもらおうとかといった試みが必要かと思う。	<p>施策の方向性①「NPO・ボランティアや企業、学校等、様々な機関との連携と協働により、地域からの国際交流、国際協力を推進する」</p> <p>取組み例①「東京国際フランス学園等、地域における関係機関との国際交流・協力事業を推進する」</p> <p>上記の中で、フランス学園と地域の交流促進については、ご意見を参考に引き続き検討してまいります。</p>

(3) 外国人が暮らしやすい環境づくり

番号	主な意見	対応方法等
1	外国人の方も北区民として役割を担っていただく必要がある。	<p>施策の方向性③を以下のとおり修正いたします。</p> <p>「外国人区民が地域に愛着を持ち、つながりを持って暮らしていけるよう、<u>外国人ならではの視点や文化・経験を活かした活躍や地域参画を支援する。また、</u>NPO・ボランティア活動等、中間的な立場で日本人と外国人を結ぶ担い手の発掘・育成を行い、多文化共生を推進する」</p>
2	外国人といっても一括りではなく、国籍だったり、留学生や技能実習生だったりさまざまである。多言語化や日本語教育はコストもかかって大変だとは思いますが、しっかり丁寧に対応してほしい。	<p>取組み例①「通訳クラウドサービスの活用」「日本語学習を行う支援団体との連携」「区職員への研修」</p> <p>上記の例にあるような多言語・多文化に対応した環境づくりについて、北区多文化共生推進計画に基づく行動計画の中で、ご意見も参考に組み込んでまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

2-8 男女共同参画社会の実現

(1) 男女平等の意識づくり

番号	主な意見	対応方法等
1	(2-7も関連して)男女共同とか、外国人が暮らしやすいという表現よりも、ダイバーシティ的な考え、もっと国際社会的に通用するような表現に今後変えていく必要があるのではないか。	2-7(1)地球市民を育む意識づくりにおける施策の方向性「だれもが一人ひとり持っている国籍や年齢、性別や性のあり方、障害の有無、出身地等の多様性を認め合い、誰もがいきいきと生きることができる差別のない人権尊重社会の実現に向けて～」 上記の理念のもと、性別や国籍だけではない、多様性が認められる社会の実現に向けて、ご意見を参考に、国や他自治体の動向なども研究して取り組んでまいります。
2	いまだに性別による固定概念が強く残っている。幼少期から男女共同についての教育を推進してほしい。	女性の進出が少ない職業分野で活躍している女性を講師として中学校等に派遣する職業教育キャラバン事業や、小学生向け男女共同参画についてのパンフレット配布などを実施しています。 保育園等幼少期からの教育については、ご意見も参考に検討してまいります。

(2) 男女共同参画社会の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	DVは被害者だけでなく加害者に対しても、カウンセリング等のケアといった支援が必要。被害者だけを救済しても、加害者が別のDVを引き起こすようではいけない。	若年層を対象としたDV、デートDVに関する講座等、啓発事業を実施しておりますが、加害者へのカウンセリング等、加害者対策のあり方については、都や民間の関係機関との連携を含め、ご意見を参考に検討してまいります。

(3) 男女の仕事と家庭の両立支援

番号	主な意見	対応方法等
1	女性の活躍推進が、「女性も働くべき」というトーンにならないように留意してほしい。	以下のとおり修正いたします。 今後の課題② 「結婚や出産を機に仕事から離れていくのは女性の方が多く、就業形態が多様化していく現在、女性の再就職準備、起業家の育成やキャリアアップなどに区が積極的に取り組む姿勢を見せていく必要がある。また仕事をしているかに関わらず、すべての女性が自分らしく生きることができる社会に向けては、男性の理解協力が不可欠である」 施策の方向性② 「すべての女性がライフステージに合わせた自分らしい多様な生き方ができるよう、キャリア形成や就労・復職に対する支援、 <u>妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援、男性への働き方改革・家庭における役割分担の意識啓発等、様々な</u> 取り組みを推進する」

検討会からの主な意見と対応

2-9 主体的な消費生活の推進

(1) 消費者の自立支援

番号	主な意見	対応方法等

(2) 消費生活の安定

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

3分野全体に関して

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>豊島区が発行している豊島パブリックトイレマップには、330箇所のトイレが地域ごとに地図に掲載されている。ただトイレの場所が書いてあるだけではなく、車いす対応やオムツ替えシートの有無、24時間利用可能、といったマークが付いている。</p> <p>車いすやベビーカーを利用している方々が気軽に利用できる場所なのかが一目で分かるような情報をぜひ北区も発信して欲しい。一般の人が受け取りやすい情報を考えていただきたい。</p>	<p>様々な情報手段の活用により、わかりやすくだれもが安心して公共施設を利用できるよう、4-1(2)の施策の方向性②「情報発信型区政の展開」の中で、適切な情報発信に向けた検討を進めてまいります。いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、車いすやベビーカーを利用しているの方々に対する北区の現在の取り組み（情報発信）としては、「バリアフリーガイド」（北区社会福祉協議会が運営と更新を担当）、「子育てガイドブック」「北区子育てマップ」などがあります。</p>

3-1 計画的なまちづくりの展開

(1) 適正な土地利用への誘導

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>ある土地が所有者不明や特区の中など法律改正により有効活用する制度でき、モデルケースも出てきているので、そのあたりうまく実行できるといいかなと思う。</p>	<p>所有者不明土地の利用等につきましては、国の動向や地域の課題等を踏まえ、今後の課題として引き続き検討してまいります。</p>

(2) 地域特性を重視した協働型のまちづくり

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

3-2 安全で災害に強いまちづくり

(1) 防災まちづくり

番号	主な意見	対応方法等
1	がけ・擁壁について、王二小、十条台小、荒川小は子どもが昼間たくさんおり、避難場所として設定されている場所なので、一刻も早く安全の確保のために調査を行っていただきたい。	東京都の調査は終了している状況です。北区独自で行っている2メートル以上の崖については、30年度赤羽西地区で実施しており、まだ終了していない所もありますが、ご指摘等ふまえ、出来る限り迅速な対応をしていきます。

(2) 防災体制の整備・充実

番号	主な意見	対応方法等
1	東日本大震災後に避難所運営における女性の参画がクローズアップされたが、それのみでなく、災害が発生する前の予防分野、災害発生時の救助やケア、お互いの助け合い、そして避難所生活、さらに復興に向けての長い道のりの中で男性も女性も地域の中で一緒に活動することが非常に重要だと思う。	いただいたご意見については、男女共同参画の視点を踏まえた防災対策の充実という形で関係団体との連携強化、女性リーダー育成などの事業を実施しており、引き続き取り組んでまいります。
2	防災対策につきましては、じっくりと時間をかけて進めるべきものと、スピード感を持って対応していただくものと両方ある。災害はいつどこで起こるかわからないものであり、そこが怖いところなので、国や都との協議等も有ると思うが、スピード感をもって取り組んでいただきたい。	基本計画や個別事業計画を検討する際に、ご意見も参考にまいります。
3	北区は学校が統廃合されて、現実に学校が無くなったために、実は避難所開設訓練ができていないところがある。それは早急に、統廃合されたからできないということを知ってほしい。開設訓練もきちっとやっていただきたい。なおかつ、学校がなければ、それに代わる代替としてどこで避難所開設訓練を行うか周知してほしい。、避難所開設は1度や2度ではできない。何度かやっていかないとできないという問題がある。	避難所の開設については、地元の町会・自治会にお願いしています。色々な機会をとらえて実施してもらえよう支援していきませんが、残念ながら全部のところできていない状況ではありません。ただ、避難所の開設訓練は、とても重要なことであるため、区としては、避難所開設がどなたでもできるように開設のキット（マニュアルやグッズをひとまとめにしたもの）の導入を進めています。引き続き開設訓練については、区としても力強く進めていきます。
4	水害については、一時避難場所のようなところを多く作っておくということは大事ではないか。	取組み例②「大規模水害に備えた避難計画を策定する」 いただいたご意見については、上記の中で参考にさせていただきます。

検討会からの主な意見と対応

5	<p>避難所に関してだが、避難所に地域の方が集まったときに、その地域の方が実際一回集まったことはあるのかと思う。本当にその地域の規模の人たちを収容できるのか。広島の人たちがやっていたが、結局人数と㎡を数えたら、立ったままだったら集まれる。横になると、地域の人は入らない事になってしまっていた。日ごろの避難訓練の時に、一度避難所に行ってみるか、全員そこに集まってみるといのが、果たして本当にやったことがあるのかと感じたので、参考にさせていただきたい。</p>	<p>地震の際の東京都の被害想定によると、避難者数は最大73,410人と想定されており、区が指定している全59カ所の避難所の延床面積は避難者数に足りる避難所面積を確保しております。 水害の際の避難場所は、取組み例②「大規模水害に備えた避難計画を策定する」の中でご意見も参考にさせていただきます。</p>
6	<p>防災対策については、基本計画書をまずまとめて、それをシュミレーションして、次にそれをブラッシュアップしてほしい。実際に避難所などを見に行き、それがきちんと使えるものなのかということを確認していただきたい。</p>	<p>基本計画や個別事業計画を検討する際に、ご意見も参考にさせていただきます。</p>
7	<p>地震は不意打ちで起こるので、そこはぜひ優先度を高めて、とにかく地震対策は一丁目一番地ではないが、肝に入れてやっていただきたい。</p>	<p>地震対策については、北区は3つの優先課題として、「地震・災害に強い安全・安心なまちづくりに全力」で取り組むこととしており、今後も力を入れ積極的に取り組んでまいります。</p>
8	<p>避難所（避難生活）における被災者にとっては、医療や健康に関するニーズも重要ではないか。医療関係者との連携の必要性について今後の方向性にしっかりと書き込んでいただきたい。 行政が区の医師会（開業医の先生）や他の関係団体と協定を交わし、災害時の医療の対応について最低限担保していただく基盤をつくるなど、連携をしっかりと進めていくことを計画の中でうたって欲しい。</p>	<p>地域防災計画において、災害時には、区内医療機関を緊急医療救護所、区内小中学校を医療救護所に指定するなど医療機関との連携を図っており、引き続き取り組んでまいります。 また、医師会・薬剤師会と災害医療運営連絡会を設置し、意見交換を実施しております。</p>
9	<p>受援力という最近総務省が使っている言葉があるが、防災ボランティアの力を活かすためには、その多様なボランティアをどう受け入れていくのか、ボランティアが来た時にどこにいてもらうとか、そのような環境を整えたり知恵を整えていくということも重要。そういう所にも少し力を入れられたら北区が安全・安心で災害に強いまちづくりにつながるのではないかと思う。</p>	<p>施策の方向性②を以下のとおり修正いたします。 「他の自治体等からの受援（<u>応援の受入れ</u>）体制等について区の実情に沿った実効性の高いものにしていく。」 ※受援については、他自治体からの応援を円滑に受け入れるため、平成30年3月に改定した「北区地域防災計画」で、受援に関する項目を新たに設け、受援に関する方針を定めることにしています。</p>

検討会からの主な意見と対応

(3) 地域防災力の向上

番号	主な意見	対応方法等
1	小中学生など長い目で見て、防災に強い人材づくりが大切である。	防災教室（区内幼保・児童館・学校及び事業所等への起震車派遣と防災講話）や中学生防災教室等の事業を実施しており、引き続き、防災意識の維持・向上に取り組んでまいります。
2	避難情報の意味合いをもう少しきちんと伝えておくことと、確実に避難を行える地域のコミュニティの活性化をはかる必要があると思う。	今後もわかりやすい避難情報の提供に努めてまいります。 施策の方向性①「地域防災力を高めるため、地区防災運営協議会を中心に地域の防災意識や結束力の向上を図ることにより、災害時における迅速な協力体制を構築する」 地域のコミュニティの活性化については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。
3	余裕のある時間を区民の方が命を守るために有効に使えるように、意識をしっかり根付かせていくということが大変重要。また、正常性バイアスと言うが、自分だけは大丈夫ということは絶対ないのだということ、子どもも含めて多くの住民の方に理解していただく必要があると思う。	施策の方向性②「防災運動会、中学生防災教室、防災教室及び防災センター事業等をとおして、防災事業に対する理解と協力を得ながら、防災意識の維持・向上を図る」 いただいたご意見については、上記の中で参考にしております。
4	実際に災害が起きる場合は、どこが避難所かも知らない、防災訓練も受けてない人たちどうするかということ、SNSの情報受けながらとか、情報の受け方がだいぶ変わってきているので、そのあたりの対策ってということを講じていく必要があるのではないか。	基本計画や個別事業計画を検討する際に、ご意見も参考にするとともに、今後もわかりやすい避難情報の提供に努めてまいります。
5	供給と需要のバランスが崩れてきたときに、区内の食材調達どうするのか、医療的な部分どうするのか、風呂トイレどうするのか、様々なことをある程度講じなくてはいけなくて、そのイメージ想定というものはしっかりする必要がある。	災害時の対応については、地域防災計画で記載しておりますが、引き続き、国や東京都と連携し検討してまいります。
6	災害が起きてたまたま北区の駅で電車が止まってしまったときに駅の利用者や企業がどうするのかといったところを記載した方が良いのではないかと。	施策の方向性③を以下のとおり修正いたします。 「 <u>区内事業者へ従業員の施設内待機、備蓄の確保、地域貢献活動等を求めるとともに、都や鉄道事業者と連携して帰宅困難者対策を促進する。</u> 」

(4) 交通安全対策の推進

(5) 地域防犯活動の充実

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

3-3 利便性の高い総合的な交通体系の整備

(1) 体系的な道路ネットワークの形成

番号	主な意見	対応方法等

(2) 公共交通機関の利便性の向上

番号	主な意見	対応方法等
1	十条と東十条は非常に高低差があるため、コミュニティバスの導入を希望している。そういった観点を踏まえて検討していただきたい。	施策の方向性①「土地（崖線）の高低差によって移動が困難な地域や、公共交通機能の向上を要する地域等を中心に、コミュニティバスを主体とした地域公共交通による移動手段の確保に向けた取組みを推進する。」 上記の中で、ご意見も参考に今後検討してまいります。

(3) 自動車・自転車利用の適正化

番号	主な意見	対応方法等
1	都市部では、車もカーシェアリングが主流になるのではとされている。自転車も、レンタサイクルの仕組みが広がっている。11頁の(3)に自転車ネットワーク計画の策定とあるが、そのようなことを考えているのか。	取組み例③「自転車活用推進計画への移行を検討する。」上記の中で、シェアサイクルを含め自転車の活用の推進に関する施策を、総合的に今後検討してまいります。
2	これから先、モノの概念・価値観が「所有」から「利用」に移っていき、自転車は皆で共有するものということになった場合、現行の考え方が適正かどうか。行政が決めたものを区民が守り、守っていないものをどう対策するかという発想になってくるが、より利用しやすい社会を行政側が作り上げることによって、住み良いまちになっていく、という発想が必要である。	シェアリング・エコノミーについては、全ての分野にわたり必要な考え方だと考えております。基本計画への反映については、今後検討してまいります。
3	分譲マンションでは駐車場の附置義務によりかなりの駐車場を設置しているが、空きが出て管理組合が困っているという現象があちこちで起き始めている。にも関わらず、駐車場の附置義務について、地域ごとに綿密な分析をして変更する手続きを踏んでいないことが大きな問題になっている。一方で、マンションに駐輪場が十分整備されていないために、自転車があふれてしまっているという問題が起きている。	自動車駐車場、荷さばき駐車施設等に関しては、東京都駐車場条例や北区居住環境整備指導要綱による規定があります。実情に合わせた見直しや、シェアリングの普及等社会情勢の変化にも適切に対応できるよう、適宜検証を行います。
4	マンションに駐車場は完備しているが、荷物の積み下ろしのためのスペースが確保されていないため、前面道路に駐車をしてしまい、それによってマンションの住民のみならず、周辺の方々が困るという現象が起きている。そういったことを総合的に鑑み、自転車ネットワーク計画の策定や駐車場の附置義務、自転車駐車場のあり方等をあわせて検討しないと、将来に対応できない計画になってしまう。	荷捌き駐車場についての考え方は3と同様です。 取組み例③「自転車活用推進計画への移行を検討する。」上記の中で、地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備等、自転車の活用の推進に関する施策を総合的に今後、検討してまいります。 また、具体的に事業を検討する中では、ご指摘いただいた点を踏まえ、附置義務駐車場や民営駐車場の整備・稼働状況、シェアリングの動向等について十分注視しつつ、総合的な対策を講じることのできるよう検討してまいります。

検討会からの主な意見と対応

5	<p>これからは、車にしても自転車にしてもシェアしていく、それによって色々な面でシステムが変わってくる。そういったこともこれからは普及していくということを念頭に置いて、計画の中でも位置付けていただきたい。</p>	<p>シェアリング・エコノミーについては、全ての分野にわたり必要な考え方だと考えております。基本計画への反映については、今後検討してまいります。</p>
6	<p>民間やNPO団体と協力しながらレンタサイクルを活用していくということは北区でもできるのではないかと。</p>	<p>取組み例③「自転車活用推進計画への移行を検討する。」上記の中で、シェアサイクルを含め自転車の活用の推進に関する施策を、総合的に今後検討してまいります。</p>
7	<p>ちょっとオシャレだな、使ってみたいな、と思われるものを作らないと、実際に社会実験をやっても終わってしまう。そういったことも含めて今後考えていただきたい。</p>	
8	<p>田端駅は北区にあるが、駅前の自転車駐輪場は荒川区や足立区の方が多く利用している。北区の施設なので北区民が安く、他の区域の方が高い設定になっている。北区民にとっては良い一方、結果的に他の区域の方の放置自転車が増えている印象がある。北区民のことだけでなく、他の区民のことも考え、連携をとりつつ、値段とかそういった部分で考慮すれば、結果的に北区の放置自転車がなくなっていくのではないかと。</p>	<p>区民優遇制度の導入に伴い、どの程度放置自転車数が増加しているのかについては、十分に検証したうえで、必要に応じて対応を検討してまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

3-4 情報通信の利便性の高いまちづくり

(1) 情報通信基盤の整備

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>「区民に期待すること」に「区民や事業者等が、行政機関や民間のデータを活用し、新たなアイデアを醸成する。」とある。</p> <p>この文章は的確な言葉ではないと思う。</p> <p>これを読んだ場合に、行政側が持っているイメージと読み手が持つイメージが違ってしまわないかと思う。</p> <p>この言葉については、再検討していただけたらと思う。</p>	<p>「区民とともに」の「区民に期待すること」を以下の通り修正いたします。</p> <p>「区民や事業者等が、行政機関や民間のデータを活用し、新たなアイデアを<u>つくりだす</u>。」</p>

(2) 情報活用能力の向上

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>【今後の課題】の「子どもの情報通信機器の所有が増加し、成長段階に合わせた情報モラル教育が重要となる。」部分についてだが、子どもだけではなく、小中学生の保護者にも、何かの形で、子どもたちの間で流行っているものや、巻き込まれやすい犯罪など、今どういったことが起きているのか、どういった危険性があるのかということを知ってほしいと思う。</p> <p>また、保護者が、運動会などのビデオを撮影し、他の子が映っている映像を、SNS等でそのまま公開してしまい、トラブルになっている。</p> <p>大人でも、他人を勝手に撮影してSNS等にアップする危険性を認識していない方も多いかと感じている。</p> <p>子どもだけではなく、大人に認識や知識がないと、子どもに情報モラルを伝えることはできないと思う。こちらも考えていただければと思う。</p>	<p>取組み例①「情報セキュリティ対策や個人情報保護対策、情報モラル対策等、安心して安全にICTを利用するための最新の情報セキュリティ技術の情報収集、検討を通じた知識の普及を行う。」</p> <p>大人への情報モラル教育については、上記の中で、ご意見も参考に引き続き取り組んでまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

3-5 快適な都市居住の実現

(1) 良質な住宅の供給

番号	主な意見	対応方法等
1	介護の提供や福祉のさまざまな支援の問題で、将来的には都市づくりの中で、高齢福祉の集住化、これはサービス付き高齢者向け住宅だけを進めていくというわけではないが、そういった視点が重要な課題である。	基本計画や個別事業計画を検討する際に、ご意見も参考にまいります。

(2) 良好な住環境の整備

番号	主な意見	対応方法等
1	今回、空き家に関することが単位施策として位置付けられるのはいいことだと思う。また、防災の観点や相続などにより空き家になるなど、様々な課題があるので、空き家単体でなく大きな視点から考えていく必要がある。	空き家等の対策については、ご意見を踏まえ、引き続き、段階に応じた施策の充実に取り組んでまいります。

3-6 うるおいのある魅力的な都市空間の整備

(1) 美しいまち並みの創造

番号	主な意見	対応方法等
1	今まで必要だと思っていたものが実は民間との役割の中で不要であった例もある。公衆トイレを持つべきところと、たとえばコンビニだとかということ、いかにすみわけていくかということが大事である。区がすべてを供給するのは無理なので、いかにしてモノを民間とすみわけていくのかということ、公衆トイレでも考える必要がある。	公衆トイレをはじめ、官民の役割分担については、4-2(5)の施策の方向性③「民間活力の活用」において、詳細の検討をまいります。
2	民間といった場合に企業ばかり、あるいは住民ばかりをイメージをするのではなく、私立学校も対象に含めて考えるべきである。パークマネジメントあるいはトイレも合わせて考えることで、ネームライツというお金を取ることはできなくても、例えば地元の私立学校がちゃんと手入れをしているトイレとすることで、我々が見て気が付いたら、きれいにするという、そういう活動につながっていくと思う。そういうネームライツのあり方というものではないか。	ネームライツや企業の社会貢献活動等、官民の役割分担に関する考え方は1と同様です。 また、3-6(1)美しいまち並みの創造という観点から考えた場合も、私立学校を含めた地域企業との協働は重要な取組みであると捉えております。施策の方向性③「清潔で快適なまちを維持するため、町会・自治会をはじめ地域の企業にも働きかけ、区民と協働してまちの美化を推進」上記の中で、ご意見も参考に検討まいります。

(2) 魅力ある公園・水辺空間の形成

番号	主な意見	対応方法等

検討会からの主な意見と対応

3-7 持続的発展が可能なまちづくり

(1) 環境に負担の少ないライフスタイルへの転換

番号	主な意見	対応方法等
1	SDGsの自治体のランキングが出ていた。これに北区が選ばれることは、非常に大事なことだが、北区がランキングに入っていない。ランキングに入っている区もあり、北区がランキングに入るために、色々と見直しをしていただきたい。	SDGsについては、全ての分野にわたり必要な考え方だと考えております。基本計画への反映については、今後検討してまいります。

(2) 資源循環型システムの構築

番号	主な意見	対応方法等

(3) 良好な生活環境の保全

番号	主な意見	対応方法等
1	区が何らかの対策を行うことで、歩きタバコをなくしていくことができるのではないかと。	取組み例③「指定喫煙場所の環境改善整備を行い、迷惑喫煙防止のための巡回指導や啓発キャンペーンを推進する。」 上記の中で、引き続き、歩きタバコについても対応してまいります。

3-8 自然との共生

(1) 自然環境の保全・創出

番号	主な意見	対応方法等

(2) 環境緑化の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	地域の緑化、町会自治会の高齢者を中心とした活動には限界があるため、植栽などに地域の中学校、高校の生徒が参加してくれると非常にありがたいし、住民にも喜ばれる。	施策の方向性②を以下のとおり修正いたします。 「区民の自主的な緑化活動を支援し、区民一人ひとりが身近にみどりに親しみ、みどりを育てる地域コミュニティの形成に寄与できるようにする」 ↓ 「 <u>地域で花やみどりを育てることを通じていきいきとした地域コミュニティが形成され、区民一人ひとりが身近にみどりに親しみ、自主的な緑化活動を継続して行うことができるよう支援する</u> 」 また、取組み例②を以下のとおり修正いたします。 「 <u>美化ボランティアの育成・支援とともに、みどりの協力員や町会・自治会、商店街、学校等と協働し、地域の緑化活動を促進する</u> 」

検討会からの主な意見と対応

4-1 区民と区の協働によるまちづくりの推進

(1) 区民参画の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	<p>区民参画について、ハードルが高いと感じる人たちに向けて、ハードルを下げる、参画の裾野を広げていくという考え方、世代ごとの具体的な取組が必要ではないか。</p> <p>たとえば生涯学習の成果を地域に還元するうえで、需要と供給のマッチング、区の事業や仕事のこういった部分にボランティアの需要があるのか、ということをも明らかにする。</p>	<p>施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「幅広い世代の多様な区民ニーズを取り込み、活躍の場へとつなぐしくみづくり」</p> <p>取組み例①「気軽に参加できる活動」「多様な区民参画のきっかけづくり」 参画の裾野を広げることについては、上記の中でご意見も参考に取組んでまいります。</p>
2	<p>区民が主体的に区政に関わるためには、やらされ感を払拭していくしかけ、区民自身が本当にやりたいことを自分たちの力でやれたという達成感を生み出すしかけが必要だと思う。</p>	<p>取組み例①「パブリックコメントだけではなく、対話型ワークショップ等、区民と職員が活発な意見交換を行い、区民が直接政策形成に関わることのできるしくみづくりを行う」 広く区民の声を集めることについては、上記の中でご意見も参考に取組んでまいります。</p>
3	<p>パブリックコメントは一部の限定した方、その案件に強い関心のある方からの意見でしかないので、区民の声を広く集めていく方法を考えることが重要。</p>	<p>取組み例①「パブリックコメントだけではなく、対話型ワークショップ等、区民と職員が活発な意見交換を行い、区民が直接政策形成に関わることのできるしくみづくりを行う」 広く区民の声を集めることについては、上記の中でご意見も参考に取組んでまいります。</p>
4	<p>すべての住民が町会・自治会をはじめとしたあらゆる地域活動に関わる、ということは難しい。リスク担保も含めて一定程度の経験やスキルを持つ方に、特定の分野で活躍してもらい、誰に何をやってもらうかという関係性を丁寧につくっていく必要がある。</p>	<p>施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「幅広い世代の多様な区民ニーズを取り込み、活躍の場へとつなぐしくみづくり」</p>
5	<p>若い方の参画を推進するために、たとえば特定の分野で優れたスキルや経験のある方を公募して、任期中は住民税を無料にするなど。テレビや新聞が北区はなにかおもしろいこと、すごいことをやっているなということを取り上げてくれるような試みをしていくべき。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、若い方の区政参画推進について引き続き検討してまいります。</p>
6	<p>共働きも増えてきて女性もボランティアという形ではなかなか参加できる方は減っていくと考えられる中、たとえば福祉分野、地域包括ケアシステムが重要になる中、地域の人にどういう形で関わってもらうかということは今一度よく考えていく必要がある。同時に区民自身、どう関わるべきかということを考える機会をどんどんつくってもらいたい。</p>	<p>施策の方向性①「区と区民が地域の課題を共有し、地域の実情に即した事業を協働して推進する」 区民の区政への関わり方については、上記の中でご意見も参考に取組んでまいります。</p>

検討会からの主な意見と対応

(2) わかりやすく開かれた区政の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	Twitterをしているが、ハッシュタグがなかったり、写真が少なかったり、情報にアクセスしづらかったり、情報が十分でないと感じる。フォロワー数が少ないことも寂しい。Youtube、Facebookとの連携も薄い。	施策の方向性②「区民一人ひとりに必要な情報が届き、区民が関心のある情報を的確に得られ、区政の課題をともに考えていけるよう、双方向の情報受発信を積極的に展開する」 SNSの有効な活用については、上記の中でご意見も参考に取り組んでまいります。

(3) 責任ある協働の推進

番号	主な意見	対応方法等
1	協働に理解がある職員がいる部署ではうまく進むが、そういう職員がいないとうまく進まない、ということではよくない。職員の質の向上も大事だが、役所全体の協働に関するしくみづくりをしていかなければならない。	施策の方向性①を以下のとおり修正いたします。 「行政だけでなく区民もまた公共サービスの担い手であるという意識のもと、 職員の協働に対する理解促進を図り 、区政の様々な分野において協働の機会を拡充するとともに、行政と地域の様々な主体をつなぎあわせて 協働の推進体制を強化する 」
2	町会・自治会の担い手不足の問題で、例えば出られる時にだけ出る登録制度のような組織にして、行事等の運営を工夫している所もある。そういった新しい試みを行っている町会・自治会を区としては応援し、またそれを広めていってほしい。	取組み例①「地域の活動拠点である地域振興室の交流の場としての機能、情報の受発信機能を生かして、地域円卓会議をはじめとした地域団体同士が連携するための取組みを推進し、区民と区政をつなぐ役割を果たす」 町会・自治会の活性化については、上記の中でご意見も参考に取り組んでまいります。
3	大学連携、地域に合わせていろいろと工夫した事業を行っている。そのPRが足りないのではないか。もっとうまくいっている取組み例として取り上げて、力を入れたバックアップをしてほしい。	施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「大学や企業の～連携事業を推進し、 その取組みの成果を広く周知して 、より質の高いまちづくりにつなげる」

検討会からの主な意見と対応

4-2 計画的・効率的な行財政運営の推進

(1) 計画的な行政運営

番号	主な意見	対応方法等
1	子育てするなら一番、長生きするなら一番と、何が本当に一番か。北区は本当にこれに特化して一番だと言えるようなものができればいいのかなと思う。	4-3(2)「北区らしさ」の創造と発信における施策の方向性①「北区の個性や魅力の発信力を高めることと、区民の北区に対する誇りや愛着の醸成、地域への興味・関心の喚起につなげ、地域の活性化、地域のぎすなづくりへと発展させていく」 北区らしさの創造や発信については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。

(2) 健全な財政運営

番号	主な意見	対応方法等
1	自主財源に関する話で、経営改革という形で出ていくほうを少なくすることも大事だが、入るところをいかにしてふやしていくかという視点が大切である。 歳出では民生費の割合が今後も高くなっていくが、本当に必要なやるべきことは何かということを、区民の意向を把握しつつ、しっかりと考える必要がある。	施策の方向性①「区税等の自主財源確保に努め、財政の健全性を維持する」 施策の方向性③「新たな経営改革プランにもとづき、さらなる経営改革の推進と効率的な行政サービスの提供に向けた取組みを進める」 施策の方向性④「区の財政状況を区民と共有するとともに、区が直面している課題への意識を共有する」 自主財源の確保や効果的な資源投入については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。

(3) 簡素で機能的な組織・機構の実現

番号	主な意見	対応方法等
1	外郭団体のマネジメントや指定管理者制度について、個別具体的な見直しと検証が必要である。	施策の方向性①「機能的かつ効率的で、社会の変化に対応できる弾力性のある組織体制、関係所管が協力・連携しあえる横断的な組織体制を構築する」 及び4-2(5)効率的な行政サービスの提供における取組み例③「指定管理者制度や業務委託のさらなる活用、事業の民営化や事業者の誘致、新たな公民連携手法についての検討を行う」 組織の運営や民間活力の活用については、上記や経営改革プランの中でご意見も参考に組み込んでまいります。

検討会からの主な意見と対応

(4) 職員の資質の向上

	主な意見	対応方法等
1	職員数が減っていき、人というものが大きな財産になっていく中、人づくり（区職員の育成）というところをもっと強調して書かれるとよい。	今後の課題①を以下のとおり修正いたします。 「区政の担い手である職員一人ひとりを <u>区の貴重な財産ととらえ</u> 、「区民とともに」という基本姿勢を強く認識し、職務遂行能力や全体の奉仕者としての意識を向上させる <u>等の人材育成を行う</u> ことが、区民との信頼関係構築のために必要である」
2	民間からの中途採用（経験者採用）を今後どのくらい考えているのか、また職員研修の在り方についてしっかりと検討してもらいたい。	施策の方向性①「区民とともに協働のまちづくりを推進する職員の育成、多様な考え方を尊重し、高い倫理観を持って行動できる職員を育成する」 施策の方向性②「職員一人ひとりの能力が最大限に発揮され、主体的・意欲的に課題等に取り組み、政策形成過程や事業計画策定に積極的に参加ができる職場づくりを推進する」 区民から信頼される職員育成については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。
3	職員の対応（接遇）についての研修、ロールプレイの活用等、充実させていただきたい。区民と職員の非対称性を自覚することが大切。	施策の方向性③「社会情勢や制度の変化に適応した人事管理を行う」 民間での様々な経験を持つ人材の確保を含めた職員採用については、上記の中でご意見も参考に、必要に応じて適切に行ってまいります。
4	子育てするなら一番ということで、待機児童対策はすいぶん成果を上げた。保育の質の向上ということで、保育者に対する実務的な研修に力をいれてやっていただきたい。	施策の方向性③「専門性・特殊性の高い業務のノウハウを確実に継承し、実務に精通した人材を育成できる職員配置を行う」 実務研修や専門研修については、上記の中でご意見も参考に充実を図ってまいります。

(5) 効率的な行政サービスの提供

	主な意見	対応方法等
1	PDCAサイクルをしっかりと回す、特にKPIというのは明確に定めておく必要がある。	施策の方向性⑤「事業のコストや成果から区民の視点に立った評価を行い、今後の施策や事業展開に反映させていくとともに、評価結果を公開することで、行政の透明性を高め、説明責任を果たす」 PDCAサイクルの確立については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。
2	AIの進歩、長寿命化等、社会情勢が大きく変わっていく中で、規制緩和をうまく行って、民間の力を触発して地域づくりをしていく仕掛けが必要となってくる。	施策の方向性③に以下の通り追記いたします。 「民間事業者やNPO等、様々な主体と連携し、 <u>それぞれの強みを生かした施策を推進する</u> 」

検討会からの主な意見と対応

(6) 公共施設の計画的な整備と有効活用

	主な意見	対応方法等
1	新庁舎の整備について、たとえば24時間窓口とか、どこもやっていないような試み、区民サービスを受ける住民の視点や発想で考えてみるのもいいと思う。	施策の方向性①「人にも環境にもやさしく区民に親しまれるとともに、適切な行政サービスを提供することのできる新庁舎の整備」 新庁舎の機能については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。
2	若者が使いたくなる公共施設というものがなかなかない。こういった設備があってこういった使い方ができるといった情報、目的・コンセプトをしっかりと打ち出した公共施設となったら、もっと使うようになるのではないか。	施策の方向性②を以下のとおり修正いたします。 「重要度・緊急度に応じた計画的な施設改修や適切な維持補修に努め、建物の長寿命化を図る。 <u>また、公共施設の新設や大規模改修の際には、施設の魅力アップに資する利便性の向上等を検討する</u> 」
3	学校跡地や遊休施設の活用について、区民が参画できる可能性はどの程度あるのか、そういった可能性はどうしたら生まれてくるのかということを知りたい。また逆に民間の施設や土地を買い取って区の財産としていく（たとえば小山酒造）という視点も必要ではないか。	施策の方向性③「学校施設跡地や遊休施設等の区有財産については、貸付・交換・売却などの方法を含め、利活用を積極的に図る」 取組み例③「地域のまちづくりの推進に寄与するという観点から十分な検討を行い…」 区有施設や民間施設の活用については、上記の中でご意見も参考に組み込んでまいります。

検討会からの主な意見と対応

4-3 自治権の拡充と広域的な連携・協力の推進

(1) 自治権の拡充

番号	主な意見	対応方法等

(2) 「北区らしさ」の創造と発信

番号	主な意見	対応方法等
1	北区は実際に住んでみたらとてもいい、住み続けたいと思えるまちだと言う方は多いが、外部の、特に学生など若い方がこれから住んでみようと思えるような戦略、具体的に何が他と比べて優れているのかといったメリットを打ち出していく必要がある。	<p>施策の方向性①に以下のとおり追記いたします。 「北区の知名度やイメージを上げていくため、子育てファミリー層・若年層をターゲットの中心に据え、様々な媒体を活用した多角的な情報発信に取り組む」</p>
2	区の魅力・情報の発信について、自社媒体（区の公式HPやSNS）だけでは世間に届かない。話題性のあることをすればメディアの方から取り上げてくれる。プロモーション冊子も北区の施設に置いておくのではなく、他区の、たとえば美容院や小児科とか、子育て世代の女性にリーチするような所に配るといった、ターゲットをふまえたPR活動が必要である。	
3	「住む」と「暮らす」は少し違う。たとえば買い物や映画を楽しむということは北区ではしにくい。広域連携の視点も大切に、住みやすさと暮らしやすさ、働きやすさを一元的に考えるのではなく、全部欲張らず、ライフスタイルとしての見せ方を整理して、工夫していくことが必要である。	<p>施策の方向性②において「国や東京都、他自治体と連携するとともに、区民や民間組織とも協働しながら、区の魅力発信を観光事業とともに推進する」 区の特性・魅力についての効果的なPRについては、上記の中でご意見も参考に取り組みでまいります。</p>
4	大型集合住宅などに転入してきた方には、民生委員としてなかなか訪問しづらく、区の魅力や地域の良さというものがきちんと伝わっているかなと感じることもある。児童館や新庁舎も含めて、自慢できる、評判の良い施設を作っていくてほしい。	<p>施策の方向性①「北区の個性や魅力の発信力を高めることで、区民の北区に対する誇りや愛着の醸成、地域への興味・関心の喚起につなげ、地域の活性化、地域のきずなづくりへと発展させていく」 新しい住民の方にも区の魅力が伝わるようなPRについては、上記の中でご意見も参考に取り組みでまいります。</p>

(3) 広域的な連携・協力の推進

番号	主な意見	対応方法等